

日本青年会議所 設立50周年記念式典 メディア印刷部会

半世紀経て思い新たに

「明るい社会の実現」に向け前進

日本青年会議所メディア印刷部会(杉山純二部会長)とアイ・アンド・シーパートナーズは十三日、設立五十周年記念式典を東京都文京区の東京ドームホテルで行った。現役・OB会員や来賓など出席した二〇〇人余りを前に、杉山部会長は「これまで半世紀にわたって部会を支えてきた関係者に感謝の意を表すとともに、思いを新たに日本青年会議所(JC)が目指す「明るい豊かな社会の実現」に向けて前進していくことを確認した。

前身の印刷部会は一九六三年の発足で、二〇〇五年にメディアの多様化が進むなかでより広範な業種からの参加を促すためメディア印刷部会に改称し、半世紀にわたる歴史を積み重ねてきた。

記念式典は開会宣言に続き、国歌とJCSの斉唱、JCIクリードとJCIミッションの唱和、JCI宣言の朗読と綱領の唱和をしたうえで、杉山部会長が登壇。

第五十代となる杉山部会長は「JCの分化団体である以上、部会としてもJCの運動と歩みをともし、明るい豊かな社会の実現を目指さなくてはならない。自分たちの会社、仕事を通じて地域社会の発展に貢献していきたい。私自身の仕事は印刷業ではなく広告代理店とインターネット関連で、ここ数年は毎月のように大きな変化の波が来ていく。その流れを逃さずにつかんで社業に反映し、発展させていかなくてはならない。JCに所属して研修を

重ね、地域のリーダーとなるべくリーダーシップを磨くわれわれにとって、(記念講演で講師が示した)『大きく生きる』は深く感銘を受ける言葉だった。これまでの五十年、そして次の五十年以降に向けて、われわれはもっと大きく生きていきたい。皆さんの支援、指導を引き続きお願いする」とあいさつした。

来賓を代表して井上雅博全国印刷緑友会会長は、父の雅雄氏が第十二代部会長を務めたことから、幼少期にJCや部会の活動に連れられて足を運んだ思い出を振り返ったうえで、「激動の十年を、一生懸命働ける年代で迎えられたことはものすごくラッキーだと思ってる。私は山梨県(在住)でまさに田舎だが、その田舎と呼ばれるところが一つ一つ個性を再認識し、こうして全国でつながれることが喜びになるといふ思いを新たにしたい。ぜひこれからすべての団体がつながり、皆さんと一緒に伸びて

いければと思っている」と、さらに強い連携を訴えた。

来訪部会を代表して芳賀篤徳日本青年会議所業種別会議議長は「多くの先輩や現役役員が苦勞され、悩まれ、汗余曲折があつたこの日を迎えたのではないかと、杉山部会長の出身は東北(仙台)で、(東日本大震災)でいろいろな苦勞をしたであろうが、これを機にメディアや印刷が伝えることが重要視された。真実や喜び、悲しみを伝えることが重要視され、これからも発展するだろう」と、メディア印刷部会が果たす役割の大きさを指摘。東京青年会議所の奥山卓直前理事長は、理事長時代に部会で活動するためにJCに入会したという希望があったエピソードを紹介し、「部会



を寄せ、伝統の継承と時代に合わせた革新を続けることと新たな成長戦略を構築していくことを訴え、現役会員に対して「印刷産業を再び成長産業に導いてくださることを心から期待している」と激励した。

藤田陽司五十周年記念事業実行委員長は「五十年という歴史は思いをはせるしかなく、三十八歳の私が生まれる前からの部会で重みに非常に感じている。われわれ現役は、先輩方や業界団体の方々に支えられた五十年を将来につないでいくために、これから精いっぱい努力をしていかなければならない。そのためには諸先輩方と現役が手を取り合い、協力して部会を盛り上げ、業界を盛り上げていきたい」と決意を表明した。

歴代部会長

代	所属JC	氏名	代	所属JC	氏名
1	東京	秀三 夫	26	山田	山田 秀三
2	東京	三樹 三	27	杉山	杉山 三樹
3	大阪	晴樹 二	28	熊谷	熊谷 晴樹
4	大阪	精二 史	29	井下	井下 精二
5	大阪	高次 義	30	城戸	城戸 高次
6	大阪	誠 誠	31	江端	江端 誠
7	大阪	公章 博	32	萩原	萩原 公章
8	大阪	嘉博 二	33	朝生 公	朝生 嘉博
9	大阪	正裕 一	34	川本 利	川本 正裕
10	大阪	康和 也	35	利根川 英	利根川 康和
11	大阪	俊之 光	36	渡邊 保	渡邊 俊之
12	大阪	裕也 人	37	浦久 康	浦久 裕也
13	大阪	浩子 睦	38	福田 本	福田 浩子
14	大阪	一彦 郎	39	中本 家	中本 一彦
15	大阪	伸輔 秀	40	小林 小	小林 伸輔
16	大阪	純一 純	41	額田 口	額田 純一
17	大阪	一彦 郎	42	竹口 上	竹口 一彦
18	大阪	伸輔 秀	43	中原 中	中原 伸輔
19	大阪	純一 純	44	鳴海 幸	鳴海 純一
20	大阪	一彦 郎	45	久保 井	久保 一彦
21	大阪	伸輔 秀	46	久保 井	久保 伸輔
22	大阪	純一 純	47	水野 水	水野 純一
23	大阪	一彦 郎	48	水野 水	水野 一彦
24	大阪	伸輔 秀	49	水野 水	水野 伸輔
25	大阪	純一 純	50	水野 水	水野 純一

(出典=部会ホームページ)

オープン本棚に新機能

異なる電子書籍販売サイトで購入した電子書籍を一元管理するソフトウェア「オープン本棚」の研究開発を共同で進めている大日本印刷とインプレスR&Dは、このほど新機能を追加したバージョンを無料で公開した。

新しい機能は▽自分の読書記録や感想文を管理できる「マイデータ機能」▽EPUB形式ファイルの閲覧機能▽Mac OS対応版ソフトウェアを用意▽の三点。「マイデータ機能」はユーザーの読書履歴を管理する機能として、購入した冊数、内容の評価などがグラフなどで一覧できるほか、感想文の入力・編集・保管ができる。将来的には友人との情報共有など、さらに幅広い読者スタイルへの機能拡張を検討している。

また、従来のオープン本棚では本棚に登録したEPUB形式の電子書籍はワイ

iPhone版リリース

カラーUD支援ツール

東洋インキ

件数は過去最悪に迫る

東洋インキは、色に関する

本国が目指す方向と会社が目指す方向を合わせることに重要だ。伸びていく日本をつくるため新しい日本の国とは何か、どの方向に向かうのかを、皆さんは経営者として読み取り、つかまなくてはならない。そのためにもJCに入っているのではないかと、もう一度、未来に希望がある日本をつくるのが、JCや皆さんの使命だ」と訴えた。

来賓の島村博之全日本印刷工業組合連合会会長は、「一九八八年から一九九年までJCで自らも活動していたことを振り返ったうえで、二〇一〇年十月に発表した全印工連の産業成長戦略提言「ソリユーション・プロバイターへの進化」は、JCを含む各団体の若手が中核になって策定したことを紹介。「これからも将来にむかって活躍してもらいたいし、全印工連にも協力してもらいたい」と、エールを送った。

北島義俊大日本印刷社長は「私が第九代部会長を仰せつかったのは一九七一年で、当時は高度成長のピークを迎えようとして印刷産業もそれを上回る勢いで発展していた時代だった。それから四十年以上がたち、経営を取り巻く環境は大きく変わった。ITの進展とあって印刷産業も否応なく国内外での競争にさらされるなど、まさにパラダイムシフトが起きている。このようなかつてない厳しい環境のなかで各社は成長を続けてきたが、二つの共通項があるように思う。それは「伝統を継承すること」と「常に時代に合わせ革新を行うこと」だ。伝統を継承することは、家訓、社訓、社是などに記されている企業理念の維持ではないか。一方の革新、変えるべきものの第一は、何と言っても商品・サービスに関する顧客ニーズへの対応だ。時代が大きく変わるからこそ、伝統として継承すべきことと革新すべきものを峻別して対処することが求められる。会員の皆さんは今後も社の理念を守りつつ、それぞれが蓄積してきたさまざまな技術やノウハウを武器として、社会の新たなニーズや課題を解決する存在を目指してもらいたい。

「JCの観点から問題がなにかどうかをチェックできる。iPhone版はAppストアから無料でダウンロードできる。」

UDの観点から問題がなにかどうかをチェックできる。iPhone版はAppストアから無料でダウンロードできる。

10月に京都で記念大会

レディバードクラブが10周年

大日本スクリーン製造のユーザーなどつくるレディバードクラブ(浅野健康理事長)が、十周年記念の全国大会「Future Vision」を十月十九日に京都市中京区の京都ホテルオークラで開催する。

近畿地区大会と合同開催で、はじめに浅野理事長と石田明名会長(大日本スクリーン製造会長)があいさつし、第一会場では基調講演を立石義雄氏(オムロン製造)とメディアテクノロ

「真珠の耳飾りの少女」の複製画

共同印刷が発売

共同印刷は東京都美術館

モバイルサービスプラットフォーム 大日本